

第46回 国臨協関信支部定期総会議事録要旨

開催日時：平成30年4月21日(土)13:30～14:30

開催場所：国立国際医療研究センター病院国際医療協力研修センター棟5階大会議室

出席者数：出席者261名 委任状23名 書面表決263名

1. 開会の辞

定刻となり、吉田副支部長より第46回国臨協関信支部定期総会開会の辞があった。

2. 議長選出・書記任命

議長選出は、総会出席者から立候補者がいないため、執行部よりNHO村山医療センター長田裕次氏の推薦があり、出席者の拍手をもって承認された。

長田議長より、書記にNHO災害医療センター中根丈裕氏ならびにNHO東京医療センター石川明子氏の2名が選任され、出席者の拍手をもって承認された。

3. 定期総会資格審査報告

長田議長より資格審査報告があり、本日の出席者261名、委任状によるもの23名、書面表決によるもの263名、計547名で会員の過半数に達し、規約第14条3項及び4項に基づき本総会が成立している宣言があった。

4. 支部長挨拶

本日はご多忙の中、定期総会にご出席いただきありがとうございます。また、定期総会後に第1回研修会、合同交流会と行事が立て続いておりますので、スムーズな会の進行にご協力お願いします。今回初めてスライドを使用しながら総会を進めますのでご了解ください。

5. 議案審議

1) 平成29年度経過報告(定期総会議案書参照)

峰岸支部長より事務局経過報告、学術部経過報告、広報部経過報告があった。

2) 平成29年度会計決算報告(別紙配布資料参照)

岡村理事より平成29年度会計決算報告があった。

3) 平成29年度会計監査報告(別紙配布資料参照)

久高会計監査より会計監査報告があった。

① 監査内容：平成29年度会計監査報告

② 講評：会計の予算執行は適正であり収入支出台帳をはじめ帳簿整理、証拠書類、預金通帳、現金管理等すべて適正に行われていることを認める。

【質疑応答】

・NHO まつもと医療センター 前澤氏：平成28年度の決算額と平成29年度の決算額が比較されている理由は、前年度予算額と今期決算額の比較だと思うが。

・峰岸支部長：2年ほど前からこの様式で報告している。以前は予算額との差異を報告していたが、執行状況を把握するには予算との比較ではわからなくなってしまうので、前年度の決算額と今年度の決算額の比較をしている。

・NHO まつもと医療センター 前澤氏：決算報告の(案)はいつ消えるのか。

・峰岸支部長：承認が得られた時点で(案)を消すことになる。

平成29年度経過報告、平成29年度会計報告、平成29年度会計監査報告は書面評決286名及び挙手による採決の結果、賛成多数と認められ承認された。

4) 第1号議案平成30年度事業方針(案)(定期総会議案書参照)

・椎名理事より事務局事業方針(案)、若林理事より学術部事業方針(案)、竹内理事より広報部事業方針(案)の提案があった。

【質疑応答】

質疑なく、第1号議案は書面評決286名及び挙手による採決の結果、賛成多数と認められ原案どおり可決された。

5) 第3号議案RAを学術委員会として設置(案)(定期総会議案書参照)

長田議長より、第3号議案を先に審議する説明があった。

- ・峰岸支部長よりRAを学術委員会として設置(案)の提案があった。

【質疑応答】

- ・国立国際医療研究センター病院 永井氏：設置の本来の目的と会員へのメリットを教えてください。
 - ・峰岸支部長：本来の目的は会員の知識、技術の向上であり、学術委員会として設置することでRAの活動も活性化することが出来る。また、RAの活動に対して学術委員会として予算化することで今までのRAとしての活動もしやすくなるのではないかと思います。
 - ・国立国際医療研究センター病院 永井氏：研修会は支部としての独自性をどのように出していくのか。
 - ・峰岸支部長：研修会の内容は理事会から委員会に提案していく。
- 第3号議案は書面評決286名及び挙手による採決の結果、賛成多数と認められ原案どおり可決された。

6) 第2号議案平成30年度会計予算(案)(別紙配布資料参照)

- ・岡村理事より平成30年度会計予算(案)の提案があった。

【質疑応答】

- ・NHO 東埼玉病院 沼田氏：消耗品費が平成29年度決算額では23,000円に対し、平成30年度予算額が120,000円と100,000円増額されている理由は。
- ・峰岸支部長：総会や研修会の垂れ幕等の印刷に用いるインクおよびホームページ作成ソフトおよび研修会の動画編集ソフトの購入費用である。
- ・国立国際医療研究センター病院 永井氏：研修会の動画を編集して貸し出しをするとあったが、貸し出し実績はどの位か。
- ・峰岸支部長：平成29年度実績はない。今後、活発に利用してもらえ方向に進めていきたいと考えている。
- ・NHO さいがた医療センター 平原氏：地区会活動助成金の意義について教えてください。また、助成金の使途は各地区の一任でよいか。
- ・峰岸支部長：既に各地区会で予算化されているため支部としても平成30年度は予算化する必要がある。今後は学術委員会の活動状況をみて、地区代表者会議で助成金の扱いを再度見直していきたいと考えているが、平成30年度は従来どおり各地区30,000円を計上する。
- ・NHO さいがた医療センター 平原氏：平成30年度学術委員会の活動をみて次年度の予算に関して考えていくというお話が今ありました。それで気になったところで地区会活動助成金は現時点でこの助成金を支部から支出することの意義というか意図というかも一度きちんと教えていただきたいんですがよろしいでしょうか。
- ・峰岸支部長：まず地区会助成金につきましては、各地区会の方でそれぞれ地区会の総会を行っていますのでそこに予算化されているという現実があります。なので地区代表者会議の所でも地区会助成金の扱いというのは議題で出ているんですけども、予算化されている中では平成30年度も会計予算案としては入れる必要があるということでこちらに載せております。今年の学術委員会の活動状況をみまして今年の地区代表者会議の場で再度地区会助成金の扱いについて見直していければと考えております。
- ・NHO さいがた医療センター 平原氏：いただいた助成金はそれぞれの地区会執行部が一任されて使っていくという認識でよろしいでしょうか。
- ・峰岸支部長：平成30年度につきましても助成金の方は各地区30,000円ずつお渡しするような形で進めさせていただきま

第2号議案は書面評決286名及び挙手による採決の結果、賛成多数と認められ原案どおり可決された。

7) 第4号議案国臨協関信支部会員を対象としたアンケート調査の実施(案)

- ・峰岸支部長より国臨協関信支部会員を対象としたアンケート調査の実施(案)の提案があった。

【質疑応答】

- ・質疑なく、第4号議案は書面評決286名及び挙手による採決の結果、賛成多数と認められ原案どおり可決された。

6. 役員選出および新旧役員挨拶

土井役員推薦委員長より国臨協関信支部役員推薦規定により、平成30年度役員案の提案があった。

(スライドにて役員案提示)

支 部 長	岩崎 康治	NHO 埼玉病院	(新任)
副 支 部 長	渡辺 靖	NHO 東埼玉病院	(新任)
副 支 部 長	小関 燈	NHO 西埼玉中央病院	(新任)
事 務 局 長	吉田 茂久	国立がん研究センター東病院	(新任)
常 任 理 事	磯 敬	NHO 水戸医療センター	(新任)
常 任 理 事	石川 明子	NHO 東京医療センター	(新任)
常 任 理 事	岡村 康子	NHO 千葉東病院	(留任)
常 任 理 事	椎名 将昭	NHO 栃木医療センター	(留任)

常任理事	白倉 聡	国立国際医療研究センター病院	(新任)
常任理事	竹内 智也	NHO 久里浜医療センター	(留任)
常任理事	中尾 知江美	NHO 村山医療センター	(留任)
常任理事	中谷 穂	国立がん研究センター中央病院	(留任)
常任理事	若林 弘	NHO 霞ヶ浦医療センター	(留任)
相談役	北沢 敏男	NHO 甲府病院	(新任)
会計監査	久間 修平	NHO 宇都宮病院	(留任)
会計監査	永井 信浩	NHO 茨城東病院	(新任)
役員推薦委員	有次 耕三	国立療養所栗生楽泉園	(新任)
役員推薦委員	菅 孝	NHO 西新潟中央病院	(新任)
役員推薦委員	瀬下 明子	NHO 箱根病院	(新任)

挙手による採決の結果、賛成多数と認められ原案通りに可決承認された。

・退任役員挨拶

峰岸支部長、山崎副支部長、栴理事、齋藤理事、中根理事より退任挨拶があった。

・新任役員挨拶

岩崎新支部長：退任されます峰岸支部長はじめ山崎副支部長、理事の方々大変ご苦労様でした。新役員一丸となりまして会員の皆様のために頑張っていく所存です。新たな事業、学術委員会の設置、アンケート調査などに取り組むことになっています。ご協力、ご支援、叱咤激励をお願いできればと思います。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

7. 議長、書記解任

長田議長より書記が解任され、議長退任の挨拶があった。

8. 吉田副支部長より第46回国臨協関信支部定期総会閉会の辞があった。

議事録作成 中根丈裕、石川明子